

西神ニュータウン研究会 会報

第250号 2025年8月

■第250回例会記録

- ・日 時 2025年7月16日(水) 18:00~19:50
- ・場 所 神戸市外国語大学サテライトセミナー室B
- ・参 加 23 名
- ・テーマ 持続可能な協働型デザインの実践
～子どもたちとのワークショップを通じて～
- ・講 師 曾和 具之氏 (神戸芸術工科大学准教授)



■講演概要

神戸芸術工科大学の曾和研究室で行っている様々なワークショップなどの活動・実践の紹介があった。

神戸芸術工科大学・曾和研究室

ワークショップ&デザイン・ラボ



●おもな活動

- 6月：パパロボ WS
- 8月：ムービー制作 WS
(中学生対象)
- 9月：アートワークショップ
- 11月：ママロボ WS

パパロボ WS



お父さんいっしょに、ロボットを作ります。

アート WS



巨大動物・昆虫をみんな
で色ぬりしよう。

ムービー制作



カメラの使いかたや編集
を学ぼう。※中学生限定

国営明石海峡公園 神戸地区 あいな里山公園



●おもな活動

- ・お米づくり
- ・自然遊具・おもちゃづくり
- ・お酒 (神藝ワイン) づくり

お米づくり



無農薬でおいしいお米を

自然おもちゃづくり



ワラや竹・木材を使って、お米だけで作るワイン風

お酒造り



神戸学園都市 SCHOOL Assembly

- おもな活動（2025 年）
- ・学園都市シェアサイクル
- ・伊川めぐり大山寺編
- ・地域夏祭りへの参加

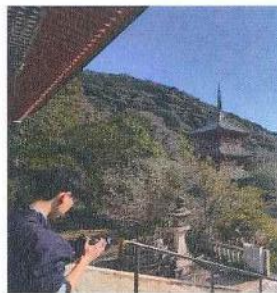


実証実験



6月から始まったシェアサイクルの実証実験を行いました。

地域探索



大山寺や伊川など、地域の自然や文化探索を行っています。

地域活動



地域と大学を結ぶ活動を模索しています。

その他の活動

- おもな活動
- ・神出山田自転車道間伐材ワークショップ
- ・六甲山間伐材でつくったオブジェづくり
- ・クリスマスリース&しめ縄づくりワークショップ

木工雑貨



かわいい雑貨を自然素材でつくります。

六甲山活動



六甲山の木材を用いた日用雑貨づくり。

地域限定 WS



地域限定のワークショップも実施中。

神戸市材の活用プロジェクト事例（一部）

一 神戸市西区役所「おやこふらっとひろば西」一



令和4年に神戸市西区役所が西神中央へ庁舎を移管するにあたり、区役所3Fに設置される親子の遊べる休憩スペース「おやこふらっとひろば西」に神戸市内の公園や里山で伐採された間伐材などを活用した什器や遊具、装飾の制作をデザインした。使用した樹種は10種類以上となり、伐採後は破棄されてしまう樹木を加工。枝木や辺材、木目などそれぞれ特徴の違いが表現され、利用者に神戸の樹木について体感しながら学べる空間とした。「バオ型遊具」は児童が遊ぶ飛び石部分に丸太の輪切りを使用。丸太のデメリットである背割りにはシリコンを注入し

安全性を確保。天井にはあいな里山公園にて育てられた草を使用。「受付カウンター」には製材時に排出される板材の耳部分を貼り付けた。一般的に破棄される部分ではあるが、2面を平面化することで、施工性が向上した。「パーテーション」は下部の目隠し部分には里山で伐採された様々な樹種をランダムに配置することでカラフルな板目が見え、上部は公園で間伐された小径木を吊るし、児童が触りながら樹木で遊ぶことができる。その他にも随所に神戸の木材を使用した家具を多く配置し、様々な樹種と形状の神戸の木に触れることができる。

意見交換

Q 稲わらが必要なのであれば、樋谷の小池農園に行けば手に入ると思う。

A 小池農園にもお願いに行ったが、自分たちで稲を育てて作るように言われた。

Q 西区で竹、竹藪に困っており、お祭りで「竹灯り」を作ったり、竹石鹸を作ったりしている例もあるようだが、何か良いアイデアはないでしょうか？

A 竹は約100年で1回限り花が咲いて枯れると言われているが、現実には30～40年で枯れてしまう竹藪が頻発している。立ち枯れた竹は表面のセルロースが堅固な膜になりチェーンソーでも歯が立たない。竹藪の適切な維持は大きな社会的課題。

ヴィンテージタウンをめざして ～まちを住み熟（こな）す～

西神ニュータウン研究会

<http://seishin-ntken.net>